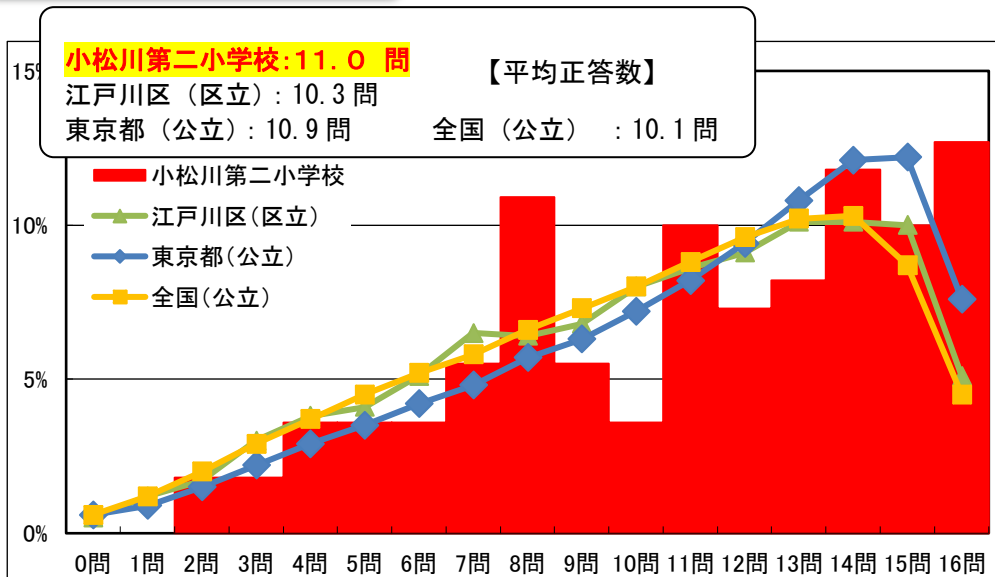


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 小松川第二小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

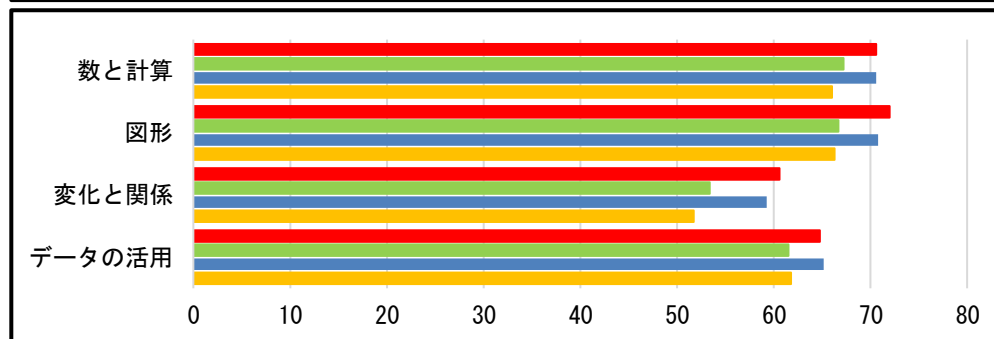
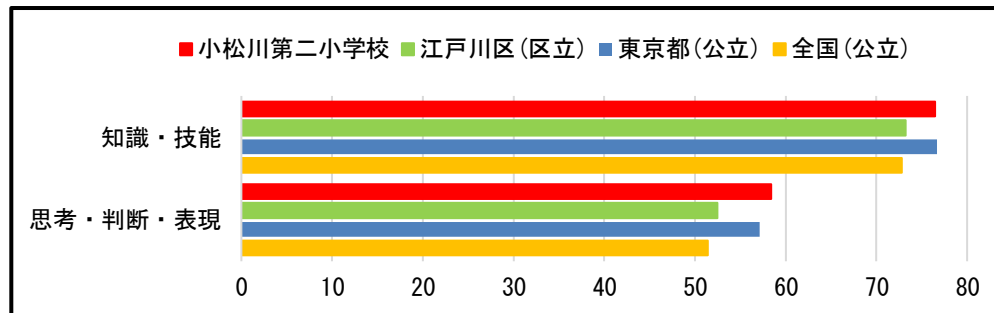
算 数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16 問	B層 12~13 問	C層 8~11 問	D層 0~7 問
小松川第二小学校	34.5	15.5	30	19.9
江戸川区 (区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都 (公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国 (公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

小松川第二小学校	69%
江戸川区 (区立)	64%
東京都 (公立)	68%
全国 (公立)	63.4%
都との差	1ポイント

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

どのデータを見比べても、本校は東京都の平均と同程度の結果となった。

知識・技能を活用した基礎・基本の問題では、7割以上の結果となっているが、思考力・判断力・表現力を問う応用問題になると、6割前後の結果となっている。

授業改善に向けて、自力解決だけではなく、他者に自分の考えを説明したり、既習をもとに図や式を使い自分がどのように考えたのか児童同士で伝える活動を多く取り入れたりしていく。